

2 県の財政

2023年度当初予算

一般会計、特別会計、企業会計の3会計を合わせて4兆6,039億余円で、2022年度当初予算に比べて3.3%の増加となっています。

このうち、一般会計は2兆9,657億余円で2022年度当初予算額に比べて4.9%の増となっています。

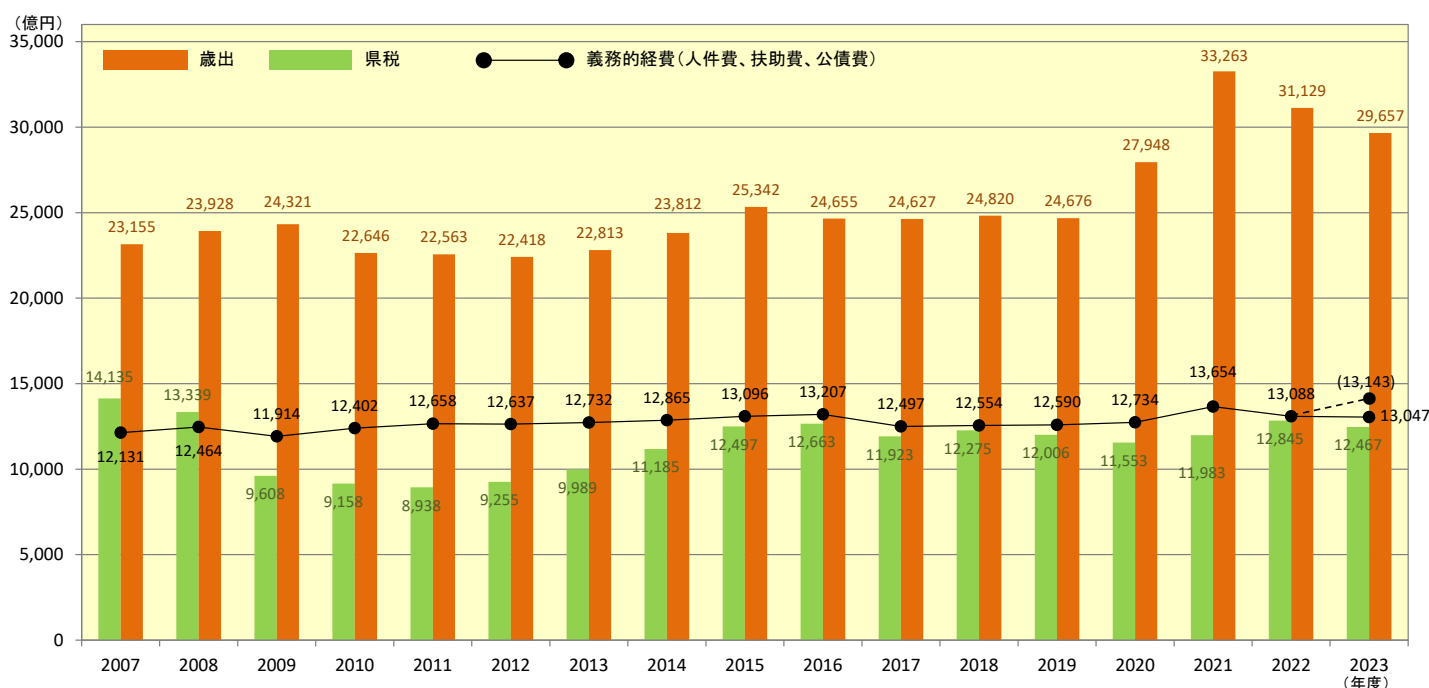
区分	予算額	伸率
一般会計	2兆9,657億2,800万円	4.9%
特別会計	1兆3,591億2,045万7千円	△0.6%
企業会計	2,790億8,878万9千円	6.3%
合計	4兆6,039億3,724万6千円	3.3%

県財政の現況

2023年度当初予算においては、県税収入は、企業収益の回復による法人二税の増などを見込み、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前の水準を回復しますが、今後、懸念材料である海外景気の下振れ、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分留意する必要があります。一方、歳出では、医療・介護などの扶助費が、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の高齢者となることなどに伴い、大きく増加します。

引き続き厳しい財政状況ではありますが、2023年度当初予算は、「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信するとともに、「STATION Ai」を始めとした日本の未来を形作るビッグプロジェクトを成功に導き、跳び上がる兔のように愛知を更に飛躍させていくという思いを込め、「跳躍飛躍」予算として編成しました。

歳出規模と県税収入の推移



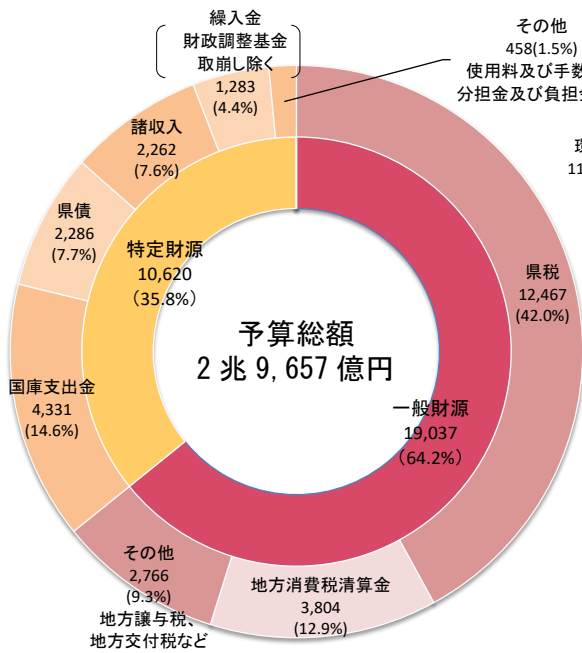
(注) 1 2021年度までは決算額。2022年度は最終予算額。2023年度は当初予算額。

2 歳出及び義務的経費は借換債除きの規模。(義務的経費は最終予算額)

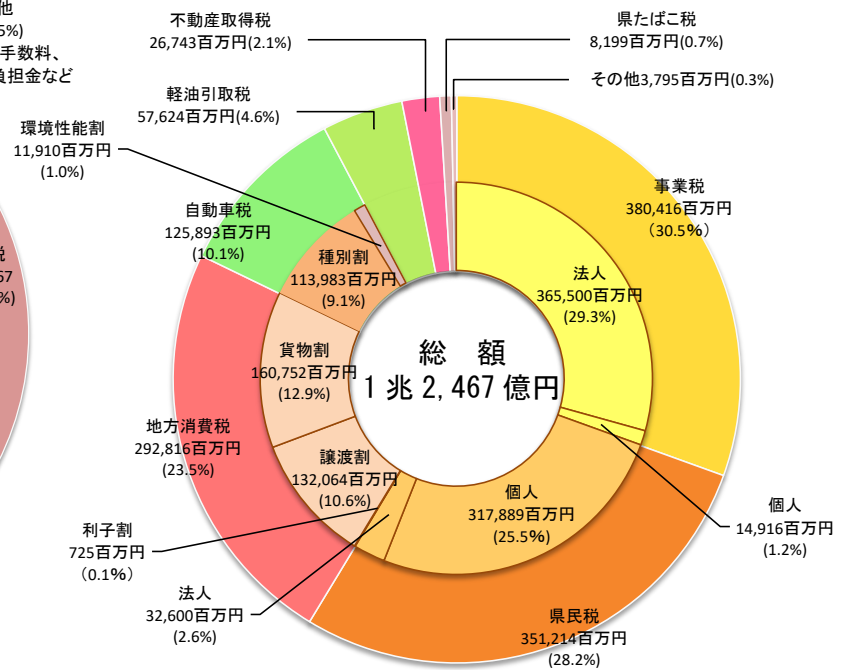
3 2023年度義務的経費の()は、退職手当平準化基金積立金(96億円)を含めた場合の規模。

2023 年度一般会計予算の状況

◆性質別歳入(単位:億円)

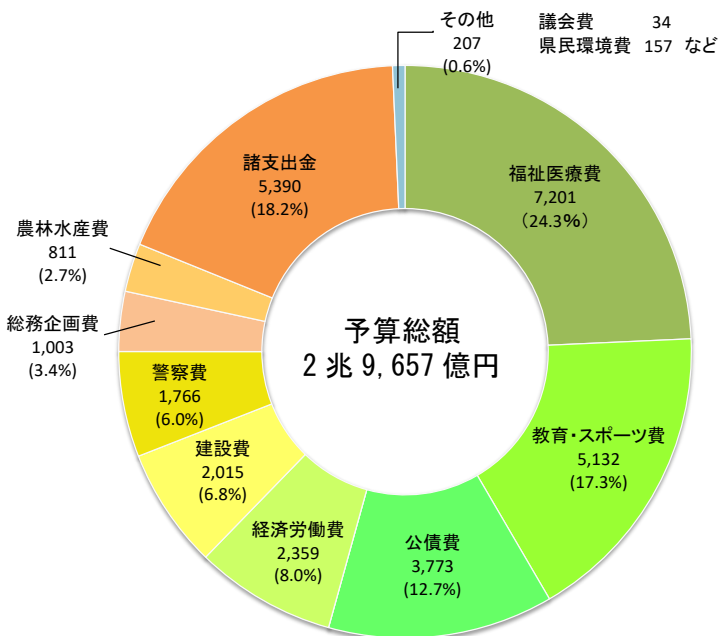


◆県税税目別内訳



県民の皆さんに納めていただく県税は、県がさまざまな施策を進めるために必要となる大切な収入です。また、県の一般会計歳入予算の中でも大きな割合を占め、重要な財源となっています。その主なものは、事業税、県民税、地方消費税などです。

◆目的別歳出(単位:億円)



県の歳出を行政目的によって、議会費、福祉医療費、経済労働費、建設費、教育・スポーツ費等に分類したものを目的別歳出といいます。

新型コロナウイルス感染症対策のほか、健康づくりや医療、福祉などの事業を行う福祉医療費が24.3%、小学校、中学校、高等学校の教職員の人件費、高等学校整備費及び私学助成などを主な内容とする教育・スポーツ費が17.3%、また、県が借り入れた地方債の元利償還金等を支払う公債費が12.7%を占めており、この3費目で歳出全体の約5割を占めています。

◆県民1人当たりの一般会計歳出額(単位:円) (2023年1月1日現在住民基本台帳人口7,512,703人)

